

平成26年度

湯沢砂防だより

No.31

平成26年10月7日

国土交通省 湯沢砂防事務所



防災・減災
新潟プロジェクト
2014

芋川土砂災害防止施設見学会を開催しました

～中越地震から10年 復旧・復興をふり返る～

10月4日（土）、芋川流域において土砂災害防止施設見学会を開催しました。この見学会は、中越地震から10年の節目の年を迎え、当時工事に携わった技術者や、震災に対応された首長の貴重な体験を通して、復旧・復興に果たした土木事業・行政の役割について理解を深めて頂くことを目的に開催したものです。

また、建設界における技術継承の観点を含め、新潟県建設業協会の3支部と協働で開催し、大学・高専の学生58名を含む77名の皆様に参加頂きました。



主催者挨拶（湯沢砂防事務所）



共催者挨拶（新潟県建設業協会）

午前中の室内講習では、工事に携わった技術者からは、震災当初の交通網が寸断され、資材・機械も思うように確保できないなか、現場で知恵と工夫を重ね対応したことや、旧山古志村長からは、震災当時、苦渋の判断を迫られながら村民の安全と生命を守ったことなどが話されました。



室内講習の様子



【室内講習】長島衆院議員の講話

午前の室内講義の終了後、参加者の皆さんは会場において昼食を摂りましたが、昼食後のひととき講師の皆さんといっしょに、やまこし復興交流館「おらたる」の館内を見学していました。

講師の皆さんからは、展示室に展示されているパネルなどをもとに、当時の様子を熱心に説明されていました。



講師から学生に当時の様子を説明

午後の現地講習では、震災当時の状況と現在の姿を見比べてもらいながら、現在の姿になるまでの過程や、当時の復旧にかけた技術者の思いが話されました。

現地講習終了後には、これからの建設界を担う学生と懇談会を行い、鋭い質問や意見交換が交わされました。

この見学会により、土砂災害防止施設の役割や防災に対する理解が向上し、さらには、若手技術者が建設界への興味を高める一助になればと思います。



【現地講習】木籠集落



【現地講習】東竹沢河道閉塞



【現地講習】東竹沢河道閉塞



【現地講習】下之沢(梶金)地すべり対策



懇談会の情景



懇談会にて 鋭い質問も